

A nighttime aerial photograph of a city. In the foreground, a multi-level highway interchange is visible with some light trails from vehicles. Behind the highway is a large, dark green park area with scattered lights. In the background, a dense urban skyline is illuminated with various lights, including a prominent tall building with a red-tinted top. The overall scene is dark, with the city lights providing the primary illumination.

6月近況レポート

松山文創園區

以前たばこ工場の倉庫だった場所を利用した

施設に友達と遊びに行った。

建物の外は灼熱地獄で日傘が必須。一番下の

写真は建物一階のデザインショップが立ち並

ぶ場所で、レトロな雰囲気味わえる。



同じ学科の台湾人に教えてもらった 飯糰 (台湾式おにぎり)。日本円で約2、300 円ぐらいだがボリュームでコスパ抜群である。



ルームメイトと行った中華料理

屋



上海出身のルームメイトが「この店の湯青菜は絶品だ」と太鼓判を押していたので、その味を確かめに行ってみた。一口食べた瞬間、これが自分の台湾で一番好きな食べ物だと確信した。鶏肉の出汁とゴマ油が絶妙にマッチしていて非常に美味しかった。謝謝大哥。

師大夜市で食べた

トマトスパゲッティ



別れと夏休み



公館キャンパス近くにある火鍋店。5人全員そろってご飯を食べた最後の日。大学を卒業してから何をしたいのか、将来の展望などを話した。



台湾に残る組の1人を除いた4人で串焼きのお店に行った。野菜と肉の両方をお腹いっぱい摂取できる串焼きは時たまのご褒美である。

師範大学の夏休みは6月中旬に始まる。夏休みは、ある人にとっては期末試験から解放される喜びであり、待ち望んだものである。またある人にとっては留學生活の終わりを告げるものでもある。前者が私であり、後者がルームメイトの上海出身の学生と、隣人であり親しくしてもらっていた日本人の先輩二人だった。

この4か月間、私たちは毎日のように一緒に食事に行き、観光をし、アニメや映画を観て語り合うなど、とても充実した時間を過ごした。わずか4か月とは思えないほど濃密な交流ができたと感じている。

また、ネイティブであるルームメイトや先輩2人と日常的に中国語で会話を重ねたことで、中国語力も確実に向上した。さらに、言語面だけでなく、異国の地で1人では決して経験できなかったであろう貴重な体験を数多くすることができた。

3人には感謝してもしきれない。本当にかけがえのない4か月だった。

